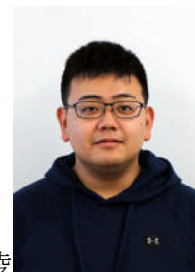


## 和歌山病院での実習を終えて



植田 凌

今回、第3内科の臨床実習の一環として、11月20日～21日の2日間和歌山病院で実習をさせていただきました。大学病院では気管支鏡検査、呼吸機能検査と言った検査や、肺がんや肺炎と言った病気を中心に実習していきますが、和歌山病院の実習では結核や胸部X線画像の読影と言ったことを中心に勉強させていただきました。特に、南方先生のセミナーでは苦手意識の強い読影を、読影の基礎から教えていただき、見るべき重要なポイントを分かりやすく説明していただきました。また、肺の区画もややこしく覚えづらかったのですが、先生に教えていただいたブロンコ体操のおかげで、しっかりと身体で覚えることが出来ました。胸部X線の読影や、肺の区画は国試でも聞かれることであり、とても有意義なセミナーになりました。結核についてのセミナーや結核病棟を見せていただき、最初は閉鎖された空間で暗いイメージを持っていましたが、実際の現場を見せていただき、病棟は明るく、制限も大きくはしていないことに驚きました。

1日目の夜にはお忙しい中、南方先生に夕食に連れて行っていただき、様々なお話や、御坊という土地にゆかりのお話も教えていただき、大変有意義で楽しい時間を過ごすことができました。今回の和歌山病院での実習で学ばせていただいたことを活かせるように精進していきたいと思っています。

1泊2日という短い時間でしたが、内容の詰まった充実した実習になりました。今回の実習にかかわっていただきました南方先生、駿田先生、和歌山病院のスタッフの皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。